

第Ⅲ編
資料編

日立市総合計画
General Plan of HITACHI CITY

後期基本計画

1 策定経過

年月日		市民(策定委員会等)	市議会	市(庁内検討組織等)
平成 28 年	3月 9日		●第1回特別委員会	
	5月 12日			●第1回策定推進本部
	18日		●第2回特別委員会	
	26日			●庁内研修会
	6月 3日	●市民ニーズ調査(～6月29日) ・対象者 市民3,000人 ・回答数1,506件(回答率50.2%)		
	15日		●第3回特別委員会	
	23日	●第1回策定委員会(諮問)		
	27日	●グループインタビュー(～7月15日) ・コミュニティ全23単会で実施 ・参加者 延べ132人		
	7月 1日	●市報等アンケート(～7月31日) ・市報141件 ・市ホームページ23件 ・インターネットモニター46件		
	6日	●各種団体アンケート(～8月3日) ・対象団体67団体 ・回答数54団体(回答率80.6%)		
	19日	●市民懇談会(～7月27日) ・市内7会場(本庁、支所単位)で実施 ・参加者 延べ49人		
	28日			●第2回策定推進本部
	8月 9日	●第2回策定委員会		
	19日	●学生と市長とのまちづくりトーク ・参加者 大学生及び高校生21人		
	24日		●第4回特別委員会	
	9月 14日		●第5回特別委員会	
	10月 31日			●第3回策定推進本部
	11月 9日	●第3回策定委員会		
	18日 21日 22日		●第6・7・8回 特別委員会(集中審議)	
	12月 14日		●第9回特別委員会	
27日			●第4回策定推進本部	
19日	●パブリックコメント(～1月10日) ・提出者数45人 ・意見件数115件			
平成 29 年	1月 18日	●第4回策定委員会		
	31日		●第10回特別委員会	
	2月 9日			●第5回策定推進本部
	17日	●第5回策定委員会		
	21日		●第11回特別委員会	
	3月 14日	●第6回策定委員会(答申)		
17日		●第12回特別委員会		
22日		●議員全員協議会(報告)		

2 策定体制

(1) 策定組織

ア 日立市総合計画後期基本計画策定委員会 26人(委嘱期間:平成28年6月23日～平成29年3月14日)

- ・学識経験者、各種団体代表、市民公募委員で構成
- ・市長から諮問を受け、計画策定に関し、必要な審議及び検討を行い、その結果を答申
- ・平成28年6月から6回開催

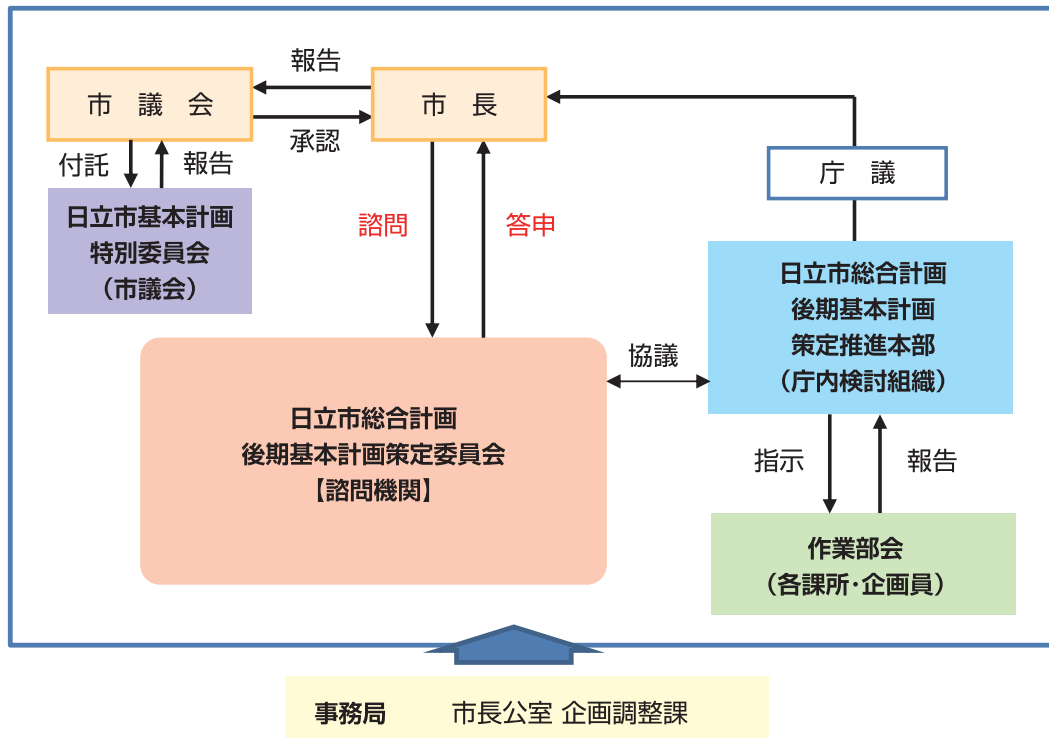
イ 日立市基本計画特別委員会(市議会)

- ・議会の立場から広範な調査・検討を加えるとともに、効率的な論議を展開し、その内容を計画に反映
- ・平成28年3月から12回開催(うち集中審議3回含む)

ウ 日立市総合計画後期基本計画策定推進本部(庁内検討組織)

- ・計画策定に必要な庁内調整を実施
- ・平成28年5月から5回開催

【策定体制図】



(2) 策定委員会設置要綱

日立市総合計画後期基本計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 日立市総合計画後期基本計画(以下「計画」という。)の策定に当たり、広く市民各界各層の意見を聴き、計画に反映させるため、日立市総合計画後期基本計画策定委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、計画の策定に関し必要な審議及び検討を行い、その結果を市長に答申する。

(組織)

第3条 委員会は、委員30人以内をもって組織する。

2 前項の委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 各種団体を代表する者
- (3) 公募による市民

(任期)

第4条 委員会の委員の任期は、委嘱の日から答申を市長に提出した日までとする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長2人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員会の委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する順位によりその職務を代理する。

(委員会の会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会の会議は、委員会の委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席した委員会の委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、会議において必要があるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、市長公室企画調整課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年4月15日から適用する。

(3) 策定組織委員名簿

日立市総合計画後期基本計画策定委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

氏名	所属団体等	備考
池内 耕作	茨城キリスト教大学 副学長	委員長
砂金 祐年	常磐大学 コミュニティ振興学部地域政策学科 准教授	副委員長
志賀 勝弘	日立市コミュニティ推進協議会 会長	副委員長
石田 智行	国立大学法人茨城大学 工学部情報工学科 講師	
星野 寿男	一般社団法人茨城県日立市医師会 会長	
額賀 儀秀	日立市高齢者政策推進会議 サービス調整部会 副部会長	
山口 文子	茨城県日立保健所 地域保健推進室 室長	
小野 芳樹	日立市私立幼稚園連合会 副会長	
大友 正徳	日立市学校長会 会長	
金子 日出夫	日立市文化協会 会長	
永井 敏子	一般社団法人日立市観光物産協会 理事	
小峰 保信	日立商工会議所 副会頭	
武田 太志	日立商工会議所 副会頭	
大越 實	常陸農業協同組合 代表理事副組合長	
木村 勲	日立市水産振興協議会 会長	
仲野 徳寿	日立電鉄交通サービス株式会社 交通事業部長	
大内 正典	環境を創る日立市民会議 副議長	
山邊 やえ子	日立地区交通安全母の会連合会 会計	
岩瀬 玲子	男女共同参画社会ひたちを実現する会=イコールズ=代表	
今泉 良	株式会社日立製作所 電力ビジネスユニット日立事業所 電力生産統括本部 総務部長	
三田 朋尚	JX金属株式会社日立事業所 総務部長	
奈良 勉	日立市勤労者協議会 副会長	
宮本 昌樹	一般社団法人日立青年会議所 副理事長	
山本 美穂	市民公募委員	
増子 沙也香	市民公募委員	
和田 航輔	市民公募委員	



日立市基本計画特別委員会（市議会）委員名簿

(順不同・敬称略)

氏名	備考
飛田 謙一	委員長
高安 博明	副委員長
下山田 幹子	
瀬谷 幸伸	
吉田 修一	
薄井 五月	
石井 仁志	
伊藤 智毅	



日立市総合計画後期基本計画策定推進本部本部員名簿

氏名	職名	備考
梶山 隆範	副市長	本部長
横山 伸一	副市長	副本部長
吉成 日出男	市長公室長	
岡部 和彦	総務部長	
石田 伸博	財政部長	
今橋 徹也	生活環境部長	
畑山 一美	保健福祉部長	
石川 昭	都市建設部長	
大内 勇雄	産業経済部長	
片岡 裕信	会計管理者	
松本 光弘	上下水道部長	
林 一美	消防長	
鈴木 透	教育部長	

3 市民意向等の反映のための取組

後期基本計画の策定に当たり、若者や子育て世代を始め、幅広く市民の意見を反映させるため、公募委員を含めた策定委員会を設置・運営したほか、市民ニーズ調査、市民団体等意向調査、市報等を活用した意見募集や、市民懇談会、パブリックコメントなどを実施しました。

策定委員会の設置・運営

概要 学識経験者、各種団体代表者、公募委員など26人で構成する策定委員会において、市長から諮問を受け、計画策定に必要な審議及び検討を行い、その結果を答申しました。

設置及び審議期間 ・平成28年6月～平成29年3月(全6回)
・策定委員26人(学識経験者3人、各種団体代表20人、公募市民3人)

策定委員一般公募 平成28年4月

市民ニーズ調査の実施

実施時期 平成28年6月

概要 ・前期基本計画で設定した「成果指標」の評価を行うとともに、市民の市政に対する意向等を把握するため、アンケート調査を行いました。
・調査対象及び回答数 市民3,000人、有効回答数1,506件(回答率50.2%)

市民団体等意向調査の実施

ア グループインタビュー

実施時期 平成28年6月～7月

概要 ・コミュニティ全23単会を対象としたグループインタビューを実施しました。
・主な調査項目 市全体、各地域の魅力や課題、今後のまちづくりの重点施策など
・参加者数 延べ132人



イ 各種団体アンケート

実施時期 平成28年7月～8月

概要 ・市政運営に関わりの深い各種団体を対象としたアンケートを実施しました。
・主な調査項目 日立市の現状、今後のまちづくりについてなど
・調査対象及び回答数 対象団体67団体、回答数54団体(回答率80.6%)

学生と市長とのまちづくりトークの開催

実施日 平成28年8月19日

- 概要**
- ・次代を担う若者の意見や提案を計画に反映させるため、学生と市長との懇談会を開催しました。
 - ・主な討議内容 日立市のまちの良い点、足りない点、日立市のまちの活性化に必要なこと、住みたいと思うまちづくりなど
 - ・参加者数 21人(大学生15人、高校生6人)



市報等を活用したまちづくりに対する意見募集

ア 市報アンケート

実施時期 平成28年7月

- 概要**
- ・7月5日号市報と合わせて「切り抜きハガキ形式」による調査票を配布し、アンケートを実施しました。
 - ・回答数 141件



イ インターネットモニター制度によるアンケート

実施時期 平成28年7月

- 概要**
- ・インターネットモニター制度により、7月1日現在の登録者(309人)に対してアンケートを実施しました。
 - ・回答数 46件

ウ 市ホームページ等によるアンケート

実施時期 平成28年7月

- 概要**
- ・市ホームページ及び市フェイスブックにより、意見募集を行いました。
 - ・市内の大学・高校に、QRコード入りの学生向けポスターを掲示し、チラシを配架しました。
 - ・回答数 23件



エ 市外在住者に対するアンケート

実施時期 平成28年7月

- 概要**
- ・日立市に「ふるさと寄附金」をいただいた方への礼状送付時に、調査票(市報アンケートと同内容)を同封し、アンケートを実施しました。
 - ・回答数 0件

市民懇談会の開催

実施時期 平成28年7月

- 概要**
- ・ 市政に対する市民等の意見を直接聴取するため、市内7地区において、夜間・休日に市民懇談会を開催しました。
 - ・ 主な懇談内容 後期基本計画の策定について、日立市基礎調査報告書の概要について
 - ・ 参加者数 延べ49人



パブリックコメントの実施

実施期間 平成28年12月19日～平成29年1月10日

- 概要**
- ・ 後期基本計画(素案)に対する意見を募集しました。
 - ・ 意見件数115件(提出者数45人)

(1) 市民ニーズ調査

ア 実施概要

- 調査目的 : 前期基本計画に掲げた「成果指標」の評価を行う。また、市民の市政に対する現在の意向を把握し、後期基本計画に反映する。
- 対象者及び抽出方法

調査対象者	発送数	有効回答数	有効回答率	標本抽出方法
満18歳以上 (平成28年5月1日現在)	3,000件 (男女各1,500件)	1,506件	50.2%	住民基本台帳から 無作為抽出

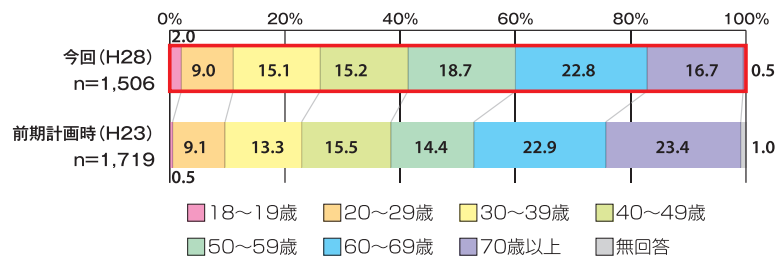
- 調査期間 : 平成28年6月3日～6月29日

イ 調査結果の概要

I 回答者の属性

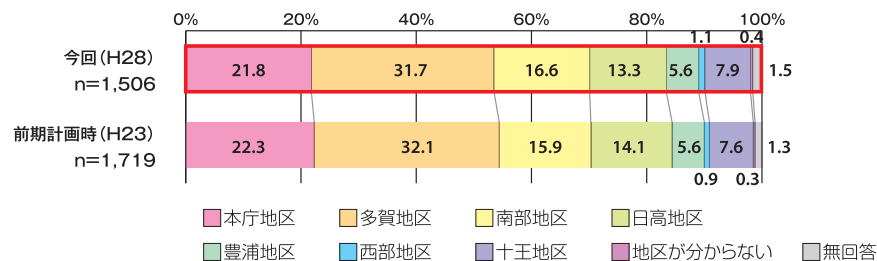
- 回答者の属性について

【年 齢】



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない(以下同じ)

【居住地区】



II 日立市のまちづくりの取組について

●日立市のまちづくりの取組についての現在の評価と今後の重要度（5段階で点数付け）

現在の評価

【評価が高かった上位5施策】

	今回 (H28)	前期計画時 (H23)
1位	上下水道 (3.93点) 【前回1位】	上下水道 (3.91点)
2位	消防・救急 (3.67点) 【前回2位】	消防・救急 (3.73点)
3位	ごみ・資源 (3.56点) 【前回4位】	墓地・葬祭場 (3.57点)
4位	墓地・葬祭場 (3.54点) 【前回3位】	ごみ・資源 (3.48点)
5位	防災・減災 (3.50点) 【前回31位】	農・林業 (3.37点)
(参考) 平均点	42施策平均 (3.11点)	40施策平均 (3.05点)

【評価が低かった下位5施策】

	今回 (H28)	前期計画時 (H23)※
42位	商業 (2.52点) 【前回38位】	工業 (2.44点)
41位	工業 (2.57点) 【前回40位】	自然環境の保全と創造 (2.61点)
40位	公共交通体系 (2.71点) 【前回37位】	商業 (2.63点)
39位	道路交通体系 (2.76点) 【前回29位】	公共交通体系 (2.65点)
38位	財政運営 (2.82点) 【前回36位】	財政運営 (2.74点)

※前期計画時(平成23年調査)は、40項目でアンケートを実施したため、下位5施策は36～40位となる。

※小数第2位未満四捨五入

評価の基準 5点：良い 4点：やや良い 3点：どちらともいえない
2点：やや悪い 1点：悪い
※順位は42項目中の順位で、平均点が高いものから順位付けを行った。

今後の重要度

【重要度が高かった上位5施策】

	今回 (H28)	前期計画時 (H23)
1位	地域医療体制など (4.53点) 【前回18位】	防災・減災 (4.50点)
2位	こども福祉 (4.48点) 【前回4位】	消防・救急 (4.47点)
3位	消防・救急 (4.48点) 【前回2位】	高齢者福祉 (4.45点)
4位	防災・減災 (4.40点) 【前回1位】	こども福祉 (4.42点)
5位	高齢者福祉 (4.37点) 【前回3位】	防犯 (4.41点)
(参考) 平均点	42施策平均 (4.03点)	40施策平均 (4.11点)

【重要度が低かった下位5施策】

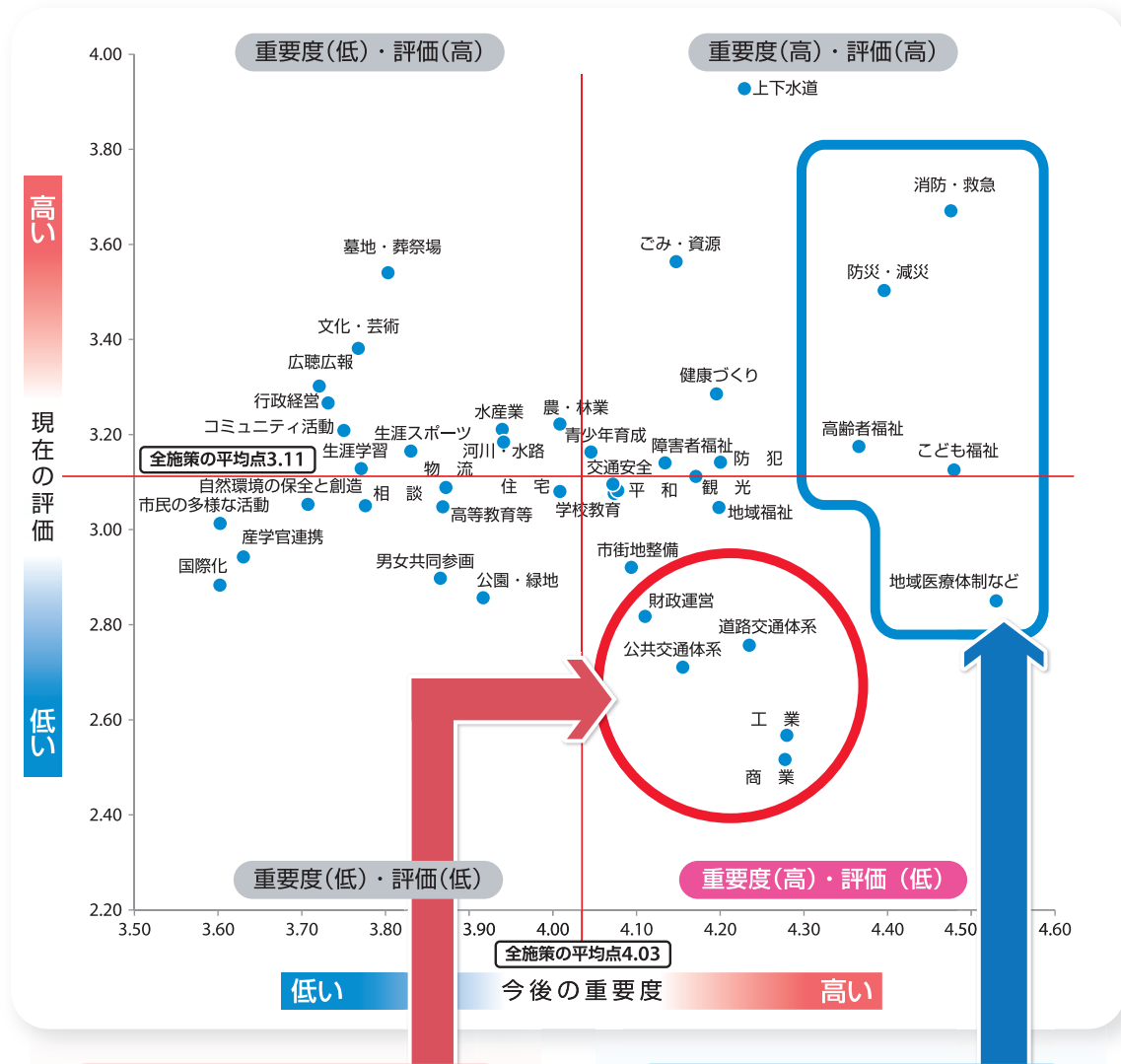
	今回 (H28)	前期計画時 (H23)※
42位	国際化 (3.60点) 【前回40位】	国際化 (3.63点)
41位	市民の多様な活動 (3.60点) 【前回39位】	市民の多様な活動 (3.68点)
40位	産学官連携 (3.63点) 【前回なし】	文化・芸術 (3.70点)
39位	自然環境の保全と創造 (3.71点) 【前回19位】	コミュニティ活動 (3.79点)
38位	広聴広報 (3.72点) 【前回32位】	生涯スポーツ (3.82点)

※前期計画時(平成23年調査)は、40項目でアンケートを実施したため、下位5施策は36～40位となる。

※小数第2位未満四捨五入

重要度の基準 5点：重要である 4点：やや重要である 3点：どちらともいえない
2点：あまり重要でない 1点：重要でない
※順位は42項目中の順位で、平均点が高いものから順位付けを行った。

市民ニーズ分析



現在の評価が低い下位5施策

	施策名	分野
42位	商業	産業
41位	工業	産業
40位	公共交通体系	都市基盤
39位	道路交通体系	都市基盤
38位	財政運営	市政運営

今後の重要度が高い上位5施策

	施策名	分野
1位	地域医療体制など	福祉
2位	こども福祉	福祉
3位	消防・救急	安全・安心
4位	防災・減災	安全・安心
5位	高齢者福祉	福祉

日立市のまちづくりの取組(42項目)についての評価及び重要度

大綱1 福祉・医療			現在の評価				今後の重要度			
			今回(H28)		前期計画時(H23)		今回(H28)		前期計画時(H23)	
			平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
①	こども福祉	子育て世帯への経済的支援など、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援により、安心して子どもを生み、育てられる環境が整っている	3.13	20	2.95	23	4.48	2	4.42	4
②	高齢者福祉	地域包括ケアセンターや介護予防などの取り組みによる自立した生活や生きがいづくりの支援など、高齢者のニーズに応じたサービスが充実している	3.18	14	2.84	33	4.37	5	4.45	3
③	障害者福祉	地域で安心して生活できるよう、障害者(児)のための相談体制や福祉サービス、就学・就業支援が充実している	3.14	18	3.08	17	4.13	16	4.14	20
④	地域福祉	支援が必要な高齢者の見守り活動など、地域での支え合いがしっかりしている	3.05	30	3.10	15	4.20	11	4.35	8
⑤	地域医療体制など	救急医療等を担う病院や、内科・小児科・産婦人科の充実など各種医療機関が整い、医療費助成制度も充実している	2.85	37	3.04	19	4.53	1	4.18	18
⑥	健康づくり	健康診断、食生活の改善指導、医療サービスの提供体制など、子どもから高齢者まで健康にくらすための仕組みが整っている	3.29	8	3.33	7	4.20	12	4.20	14
大綱2 教育・文化			現在の評価				今後の重要度			
			今回(H28)		前期計画時(H23)		今回(H28)		前期計画時(H23)	
			平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
⑦	学校教育	理科、科学学習や放課後学習教室の実施など、特色ある教育を推進するとともに、すべての子どもが個性豊かに学べる教育環境が整っている	3.08	26	3.09	16	4.07	20	4.29	11
⑧	高等教育等	大学や中高一貫教育校をはじめとする教育機関が整っている	3.05	29	-	-	3.87	29	-	-
⑨	生涯学習	子どもから高齢者までいつでも、どこでも学べる、地域や世代を超えた生涯学習活動が活発に行われている	3.13	19	3.21	11	3.77	34	3.86	34
⑩	文化・芸術	シビックセンターや市民会館などの文化・芸術施設が充実しており、多くの市民による文化・芸術活動が活発に行われている	3.38	6	3.27	9	3.77	35	3.70	38
⑪	青少年育成	家庭、地域、学校が連携し、あいさつ・声かけなど、青少年を地域で見守り、地域で育てていくための活動が活発に行われている	3.16	16	3.16	12	4.05	22	4.18	16
⑫	生涯スポーツ	健康増進や交流の場として、スポーツに親しめる環境が充実しており、子どもから高齢者まで多様なスポーツ活動が活発に行われている	3.16	15	3.14	14	3.83	31	3.82	36
⑬	国際化	外国人が日本人と同じように働き、学び、暮らせるような環境が整っている	2.88	35	2.89	30	3.60	42	3.63	40
⑭	平和	平和の大切さや尊さについて十分に継承されている	3.08	24	3.05	18	4.08	19	4.13	21

大綱3 産業			現在の評価				今後の重要度			
			今回(H28)		前期計画時(H23)		今回(H28)		前期計画時(H23)	
			平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
⑮	工業	新たな企業の進出や新たな事業展開に対する支援など、雇用の確保が図られ、産業の活性化が進んでいる	2.57	41	2.44	40	4.28	6	4.35	7
⑯	商業	商店街や大型店舗など、近くで買い物しやすい環境が整っている	2.52	42	2.63	38	4.28	7	4.23	12
⑰	農・林業	地元でとれた新鮮で良質な野菜や果物などが、入手しやすい環境が整っている	3.22	10	3.37	5	4.01	24	4.07	23
⑱	水産業	新鮮な魚介類を販売する施設があり、水産資源が活用されている	3.21	11	3.25	10	3.94	26	3.98	28
⑲	物流	日立港(茨城港日立港区)やその周辺地区が産業の活性化に活用されている	3.09	23	2.90	27	3.87	28	3.97	30
⑳	観光	海やさくらなどの観光資源の活用のほか、動物園をはじめとした施設の魅力づくりやイベントなどにより、にぎわい、楽しさが創出されている	3.11	21	2.82	34	4.17	13	3.84	35
大綱4 都市基盤			現在の評価				今後の重要度			
			今回(H28)		前期計画時(H23)		今回(H28)		前期計画時(H23)	
			平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
㉑	市街地整備	快適で利便性の高い居住環境、生活基盤が形成されている	2.92	33	2.90	26	4.09	18	4.10	22
㉒	道路交通体系	道路が整備(舗装や拡幅など)されており、移動しやすい環境が整っている	2.76	39	2.89	29	4.23	8	4.19	15
㉓	公共交通体系	電車、路線バス(BRT含む)、乗合タクシーなどの公共交通機関が便利である	2.71	40	2.65	37	4.16	14	4.18	17
㉔	公園・緑地	身近に安心して利用できる公園や広場が整備されている	2.86	36	2.91	24	3.92	27	3.98	29
㉕	河川・水路	河川・水路が整備され、安全な環境が整っている	3.18	13	3.14	13	3.94	25	3.99	27
㉖	住宅	戸建住宅やマンションなどの耐震性や防犯性などの居住水準が向上しており、住みやすい環境が形成されている	3.08	25	2.89	28	4.01	23	4.06	24
㉗	上下水道	上・下水道施設が整備され、安心して生活できる環境が整っている	3.93	1	3.91	1	4.23	9	4.40	6

大綱5 生活環境			現在の評価				今後の重要度			
			今回(H28)		前期計画時(H23)		今回(H28)		前期計画時(H23)	
			平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
⑳	自然環境の保全と創造	一般住宅の太陽光発電システム設置費補助など、地球環境に配慮した取り組みが行われている	3.05	27	2.61	39	3.71	39	4.17	19
㉑	ごみ・資源	再生資源回収体制の整備やごみ処理機器の設置補助など、ごみの減量化・資源化の推進に向けた取り組みが行われている	3.56	3	3.48	4	4.15	15	4.33	9
㉒	消防・救急	災害や緊急時に対応するための消防施設の整備や、救命率の向上につながる救命救急センターの24時間体制など、市民が安全で安心して生活するための環境が整っている	3.67	2	3.73	2	4.48	3	4.47	2
㉓	防災・減災	戸別受信機の全戸配布や備蓄倉庫の配置など、地震・風水害・火災への備えが充実している	3.50	5	2.88	31	4.40	4	4.50	1
㉔	防犯	自治会等への防犯灯設置費補助や防犯サポーター活動の充実など、犯罪から身を守る環境が整備されている	3.14	17	3.03	20	4.20	10	4.41	5
㉕	交通安全	交通安全教室の開催や高齢者の運転免許自主返納を支援するなど、交通安全の対策が十分とられている	3.10	22	3.01	21	4.07	21	4.31	10
㉖	墓地・葬祭場	墓地や葬祭場が十分に整備されている	3.54	4	3.57	3	3.80	32	3.89	33
大綱6 協働			現在の評価				今後の重要度			
			今回(H28)		前期計画時(H23)		今回(H28)		前期計画時(H23)	
			平均	順位	平均	順位	平均	順位	平均	順位
㉗	コミュニティ活動	共助社会の実現のため、住みよいまちづくりのため、地域の課題に積極的に取り組むとともに、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方が参加し、コミュニティ活動が活発に行われている	3.21	12	3.35	6	3.75	36	3.79	37
㉘	市民の多様な活動	ボランティア活動やまちづくりの活動に気軽に参加できる	3.01	31	3.01	22	3.60	41	3.68	39
㉙	産学官連携	企業、大学等と連携を図りながら、地域社会の課題解決や活性化に取り組んでいる	2.94	32	-	-	3.63	40	-	-
㉚	男女共同参画	女性に対する就業支援や社会参画支援など、男女が共に働きやすい環境づくりが進んでいる	2.90	34	2.81	35	3.87	30	4.03	26
㉛	広報	行政や地域の情報が、ホームページやフェイスブック、ケーブルテレビなどから簡単に入手できる環境が整っている	3.30	7	3.28	8	3.72	38	3.89	32
㉜	相談	消費相談や法律相談など、暮らしに関する相談をしやすい体制が整っている	3.05	28	2.91	25	3.78	33	3.91	31
㉝	財政運営	市の借金残高を低い水準で維持するため、将来の負担を増大させない財政運営がなされている	2.82	38	2.74	36	4.11	17	4.22	13
㉞	行政運営	市民課、支所の土日開庁やマイナンバー制度を活用したコンビニでの住民票発行など、市民が求めるサービスが効果的に提供されている	3.27	9	2.86	32	3.73	37	4.04	25

Ⅲ 日立市の行財政改革の取組などに対する評価

●行財政改革の取組についての評価（5段階で点数付け）

関連指標：大綱6・施策7 P232

日立市の行財政改革の取組など		今回(H28) 平均点	前期計画時(H23) 平均点
①	行政情報を積極的に発信している	3.28	3.25
②	市民の意見を広く聴くことに努めている	3.09	3.07
③	公共施設の無休化を進めている	3.74	3.69
④	土・日曜日に窓口を開庁している	4.09	4.18
⑤	財源の確保や経費の削減に努めている	3.23	3.19
⑥	利用しない市有地の売り払いを進めている	3.37	3.31
⑦	職員数を削減し適正化を図っている	3.25	3.17
-	評価の平均	3.44	3.41

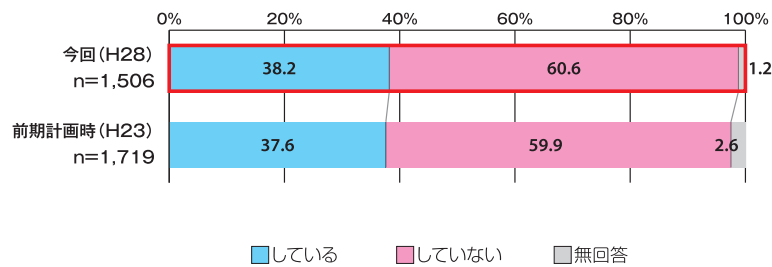
評価の基準

5点：十分である 4点：どちらかといえば十分である 3点：どちらともいえない
2点：どちらかといえば十分ではない 1点：十分ではない

IV 日常生活などについて

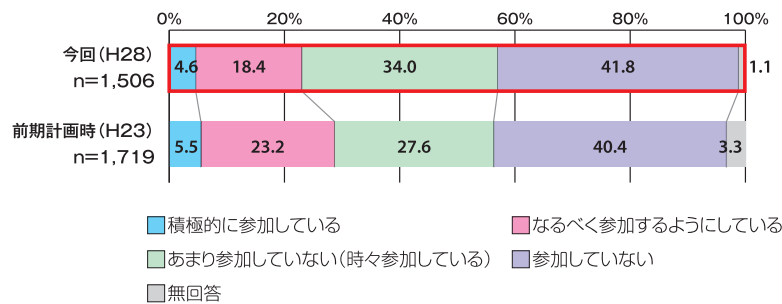
●生涯学習としての習い事や趣味の活動

関連指標：大綱2・施策3 P104



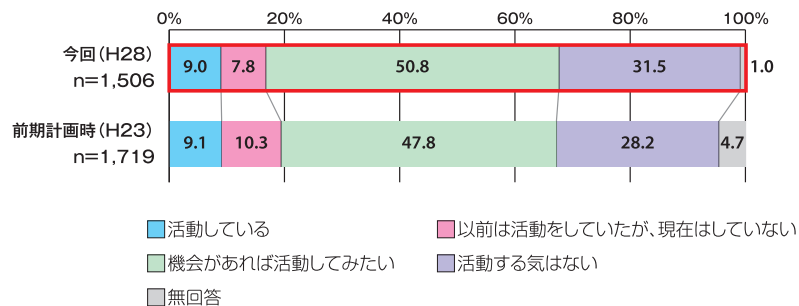
●地域活動(行事)への参加

関連指標：大綱6・施策1 P208



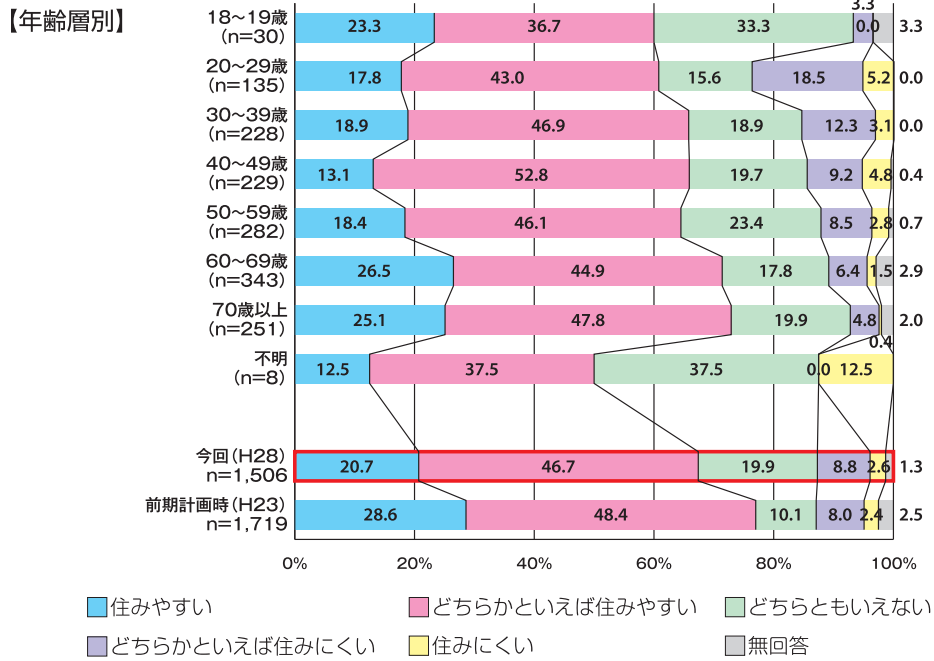
●ボランティアなどの活動(NPO活動を含む)

関連指標：大綱6・施策2 P212



V 日立市の住みやすさ

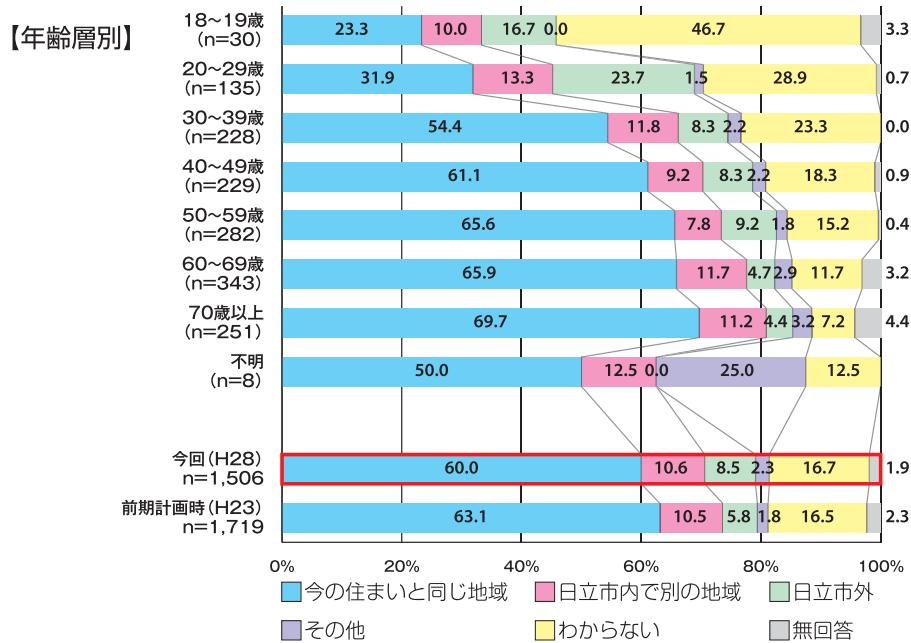
●日立市の住みやすさ



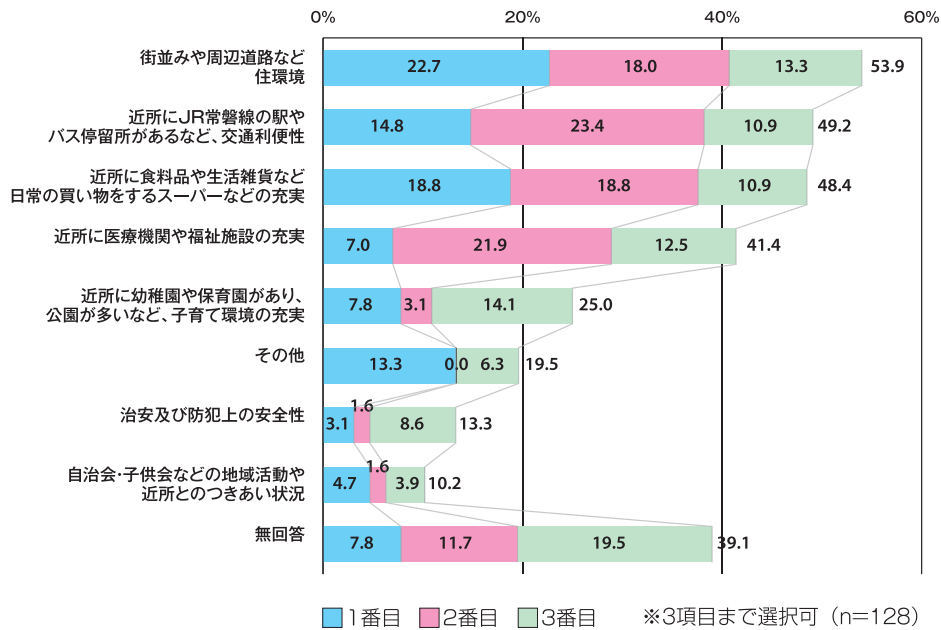
【「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を選んだ理由(年齢層別、複数回答)】

(表の見方) ・表中 (網掛け)は 年齢層別の上位5項目 ・数値は%	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	出産、子育て環境が充実していない	教育内容・環境が充実していない	働く場数が少ない	住宅を取得しづらい	居住環境が悪い	渋滞などの道路環境が悪い	公共交通機関が利用しづらい	医療機関が利用しづらい	商業施設が充実していない	娯楽の場が少ない	地域コミュニティ等とのつながりが少ない	その他
全体(n=172)	34.9	14.5	48.8	12.2	26.7	72.1	52.9	48.3	72.7	55.8	14.5	5.2
18~19歳(n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
20~29歳(n=32)	37.5	9.4	43.8	18.8	18.8	81.3	50.0	40.6	65.6	65.6	15.6	0.0
30~39歳(n=35)	57.1	28.6	45.7	14.3	28.6	80.0	40.0	42.9	71.4	65.7	11.4	5.7
40~49歳(n=32)	28.1	18.8	46.9	12.5	31.3	75.0	56.3	68.8	78.1	68.8	12.5	6.3
50~59歳(n=32)	28.1	12.5	62.5	15.6	25.0	65.6	53.1	53.1	81.3	37.5	18.8	6.3
60~69歳(n=27)	22.2	3.7	44.4	3.7	37.0	59.3	51.9	33.3	70.4	48.1	18.5	7.4
70歳以上(n=13)	30.8	7.7	46.2	0.0	7.7	69.2	84.6	53.8	61.5	30.8	7.7	7.7
不明(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●10年後に希望する居住地



●10年後の住まいに日立市以外を選んだ理由



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも全体の値とは一致しない

(2) グループインタビュー等における市民意見

ア 施策分野別の全体傾向及び主な意見

施策分野	全体傾向及び主な意見
大綱 1 福祉・医療	<p><全体傾向></p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 出産・子育てに関する支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産できる環境（医療施設）の充実 ・ 共働き世帯の増加に対応した保育施設の充実 ・ 若い夫婦を集めるための手当の充実、負担の軽減 ・ 他市町村と比較したときに選ばれる日立市になるためのこども福祉の充実 ・ ランドセルの無償配布、補助金支給などの子育て支援に対し好評価 ・ 様々な子育て支援や、充実したコミュニティは日立市の魅力と認識 ● 従来のお取り組みを見直す必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援、地域医療体制の見直し ・ コミュニティにおける新たな支え合いのシステムの検討 ・ 高齢化社会を見据え、高齢者を取り巻く提案（高齢者の移住推奨、自動車運転免許返納、共同墓地、リバースモーゲージ等）
	<p><主な意見></p>
	<p>【地域医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産婦人科、小児科等、出産・子育てに必要な医療施設が十分でない。人口流出の一因になっているのでは。 ・ 日立総合病院以外の病院の救急車の受け入れ増加、診療科の充実 ・ 産科、小児科の充実 <p>【こども福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内でも共働き世帯が増加しており、支援体制が必要。一方で、子どもが家に帰れば親がいる生活が本来望ましい。 ・ 女性の社会（会社）復帰を支える保育園の充実 ・ 子どもの医療費無料化 ・ 使わなくなった学用品を1か所に集めて必要な方に無償か格安で譲ることができる譲渡会 ・ 小中学校の空き教室を利用した保育・幼稚園施設の設置、生涯学習 ・ 「子どもにやさしいまちづくり」宣言 ・ 日立市内同士の結婚に力を入れる（婚活パーティー等）。 <p>【こども福祉・高齢者福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近に高齢者や子どもが集まれる施設が必要（空き家の活用も含む） <p>【高齢者福祉・障害者福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のみ世帯、独居世帯の増加がかなり目立つ。 ・ 交流センターに来ることができない高齢者も増加している。もっと身近に集まれる施設の充実が必要 ・ 障害者や高齢者などが、専門職から気軽にアドバイスを受けられる場所づくり ・ 市民の健康寿命を長くする施策（ウォーキング等のコースづくり） ・ 空き家を活用し、高齢者が歩いて行けるとところにサロンを設置（地域おこし協力隊を配置し、若者の雇用につなげる。） ・ 要介護者や障害者を家族に持つ人の負担が少しでも減る仕組みづくり ・ 障害についての早めの教育、交流 <p>【健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「なってしまったからの医療」ではなく、健康維持のための施策が必要（医療費抑制） <p>【地域福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員等も高齢化が進んでいる。ボランティアの有償化も考えるべきではないか。

施策分野	全体傾向及び主な意見
大綱2 教育・文化	<p><全体傾向></p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校と地域の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が連携し、皆で子どもの成長を支える取組の充実
	<p><主な意見></p> <p>【学校教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の連携強化により、コミュニティスクールのような取組も考えられるのではないか。 ・高齢者が学校教育に関わることにより、日立らしい学習プログラムができるのではないかな。 ・地域と学校の連携を一步進めて、コミュニティスクール化 ・中高一貫校をより整備して、流出している児童をつなぎ止める。 ・部活動の外部委託（先生の仕事の負担軽減） ・教育費無料化（教材、給食費等全て） <p>【生涯学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化で子ども会の廃止・統合が進んでいる。そのため、コミュニティ独自で学校との連携を進めている。 <p>【文化・スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市、スポーツクラブ、コミュニティ等で独自のイベントを企画しているため、結果として子どもの取り合いになっている。 ・地域の文化向上のため、大学なども加わった文化交流 ・市民美術館（ギャラリーの設置） ・映画館が無いので、空いているスペースでできれば。

施策分野	全体傾向及び主な意見
大 綱 3 産 業	<p><全体傾向></p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業構造の変化に対応した施策 <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援、中小企業支援の必要性（雇用の確保を含む） ・観光分野、農業の6次産業化に対する取組の充実 ●若者等を引きつける魅力ある産業や雇用の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市と企業の連携が必要、企業を誘致し活性化を図る ・華やかさの低下、若者だけでなく中高年が買物でき、楽しめる場が必要 ●豊富な食材、観光に力を入れたPR <ul style="list-style-type: none"> ・海も山もあり、豊富な食材を気軽に食べられる工夫 ・観光資源の魅力を活かす工夫、滞在しやすい環境整備
	<p><主な意見></p> <p>【雇用・人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の定住のためには、企業誘致等による市内での雇用機会の確保が必要 ・人材育成は学校教育だけでなく、産業分野でも必要。知恵を出せば色々な産業が起きてくる。女性のアイデアを取り入れることも必要 <p>【中小企業支援・企業誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで大企業に頼りすぎたのではないか。今後は中小企業に対する支援が重要。日立地区産業支援センターを活用すべき ・日立市内の中小企業の技術を活かす取組（つくば市の先端技術開発等の試作品造り、下請け的な作業の拡大） ・日立製作所グループのソフト・サービス関係の事業誘致 ・日立南太田IC、日立北IC周辺での企業誘致を進めることができないか。 <p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かみね公園、日鉱記念館、海や山などを活用した観光振興を戦略的に進めることが必要 ・年寄りが多くなるのでボランティアで花を見て楽しめる場所づくり ・ワンコイン（500円）で市内と近隣の観光コースめぐり ・きららの里に大規模なオートキャンプ場を整備 ・従来のメジャーな観光という視点にとらわれず、交流人口を増やすという視点でひたちの「いいね」を活用 <p>【6次産業化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂宮かぼちゃの加工を市内で行うなど、農産物加工を就業の場にできないか。 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化が進んでいる。耕作放棄地になる前に対策が必要 ・耕作放棄地を集約して、農業法人化組織を作り、市内の大学、企業、研究所と連携した次世代の農業研究 <p>【商業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある商業施設誘致、銀座通りの活性化などが必要 ・市内商業施設を充実させるため、かみね公園を中心とした商業施設群の整備 ・日立駅前の平和通りの下に地下街を作り、集客を図る。 ・技術を活かし、もっと海を目指した計画を（海中エスカレーター等）。 ・せめてショッピングモールを。 <p>【物流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立港の船舶入港隻数増加による税収入の増加

施策分野	全体傾向及び主な意見
大綱4 都市基盤	<p><全体傾向></p> <ul style="list-style-type: none"> ● まちのにぎわいづくり・基盤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなにぎわいの創出（ショッピングモール、映画館など） ・ にぎわい創出に向けた基盤づくりとしての道路整備 ● 道路環境の改善や地域公共交通に対する要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道6号の4車線化など渋滞緩和策、その他幹線道路の整備 ・ 高齢化社会における地域公共交通の在り方 ・ 国道6号等の渋滞、公共交通機関が不十分で行動が狭まることが課題 ● 既存資源の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家、空き地等の増加に伴う有効活用（空き家、小中学校の空き教室、耕作放棄地、社宅跡地、公営住宅空き室等） ・ 日立市独自の環境（海、かみね公園他）の有効活用 ● 住宅政策などによる転入・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人から高齢者までを対象とした、住宅政策や経済的支援などによる転入・定住促進 ・ 若者等で家を建てたい人が建てやすいような補助、規制緩和の検討 ・ 空き家の整理、活用
	<p><主な意見></p> <p>【渋滞緩和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道6号の渋滞が多く、4車線化を進める必要がある。 ・ 山側道路の延長（十王辺りまで）による混雑緩和 ・ 海側道路の延伸により、バイパス効果を高める。 <p>【道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地の幹線道路でも幅員が狭いところがあり、改善が必要 ・ 国道6号に頼らない山間部ルートや中間ルートを作り、災害時の孤立をなくす。 <p>【地域公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BRTの延伸により便利になることが期待されるが、BRTまでの移動手段も必要 ・ 地域の高齢化が進む中、地域公共交通の在り方が課題 ・ BRT路線の伸長に伴い、バスターミナルをハブ化（小型のコミュニティバスを細かい路線に走らせ、マイカーからの交通手段の転換） ・ 市内幹線道路を通る乗合バスの本数増加（休日でも朝は1時間に1本） <p>【市街地整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業が土地を手放しており、住宅地や商業施設に変わるなど、土地利用が変わりつつある。 ・ コンパクトシティを実現するために空き店舗や建物を放置せずに活用又は再開発へ導くケアを検討 <p>【住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって空き家が増加しているところがある。今なら持ち主が分かるケースもあり、適正な管理に向けた対策が必要 ・ 公営住宅の空き室が多い。リフォーム、リノベーションしてもう少し独身者も入居可能にしてほしい。 <p>【公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日立製作所社宅や寮の跡地を有効利用。景観もよく広い土地なので、公園又はコミュニティ広場はどうか。 ・ 場所柄使われていない公園を廃止し、必要な地域への公園整備を。 <p>【転入・定住促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人たちの移住と経済を活性化させるため、スタートアップ法人減税を導入 ・ 東京の高齢者の移住を推奨。お年寄りでも人口が増えるのはいいことなのでは。 ・ 民間の賃貸住宅に住む65才以上の高齢者に家賃の定額補助 ・ リバースモーゲージ制度（自宅を担保にした年金制度の一種）の活用

施策分野	全体傾向及び主な意見
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大綱5 生活環境</p>	<p><全体傾向></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域防災力の低下を防ぐ防災意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・日立市は「災害が少ない」という意見が増加 ・高齢化に伴い、地域防災体制の確保が課題となりつつある。 <p><主な意見></p> <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災から時間が経過することに伴い、防災に対する意識が希薄化している。 ・災害時は、向こう三軒両隣の関係が重要になるが、高齢化により近所が支え合うことができなくなりつつある。 <p>【救急】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車の経費を下げるため、出動回数を減らすためのマニュアルを作成。保存版として市報と一緒に各家庭や学校に配布 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな事故が起きる前に免許を返納し、公共交通を利用できるシステムを（自ら返納したい、家族が返納したらと言えるような仕組み）。 <p>【墓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永代供養してもらえる共同墓地、山間部に「樹木葬」墓地 <p>【新エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋エネルギーを利用し、水素で市内エネルギーを賄う地産地消を計画
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大綱6 協働</p>

施策分野	全体傾向及び主な意見
その他	<p data-bbox="384 275 512 300"><主な意見></p> <p data-bbox="384 324 501 349">【重点施策】</p> <ul data-bbox="411 351 1287 405" style="list-style-type: none"><li data-bbox="411 351 1287 405">・アンケートをやると計画が総花的になる。市で主体的に「ここは我慢しろ」ということも言って欲しい。 <p data-bbox="384 427 480 452">【都市像】</p> <ul data-bbox="411 454 1287 508" style="list-style-type: none"><li data-bbox="411 454 1287 508">・昔は工業都市でよかったが、今はそうではなくなっている。これからどんな都市像を目指すのが計画に必要なと思う。

(3) パブリックコメント

ア 実施概要

●実施期間	平成28年12月19日～平成29年1月10日
●閲覧資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・後期基本計画(素案) ・後期基本計画(素案)概要版 ・意見募集チラシ(料金受取人払の返信用封筒を印刷したもの)
●閲覧方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページへのデータ掲載 ・市内公共施設への印刷物配架 (市役所、各支所、各図書館、各交流センター 計34か所)
●意見の募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット(市ホームページに入力用フォームを設定) ・郵送(意見募集チラシに印刷した「料金受取人払の返信用封筒」使用) ・直接持参(市内公共施設11か所(市役所、各支所、各図書館)で受付) ・FAX

イ 実施結果

●応募状況

年 度	応募人数	意見件数
今 回 (H28)	45人	115件
前期計画時(H23)	14人	99件

●応募方法別の応募人数

年 度	直接 持参	郵送	FAX	ホーム ページ入力	電話	計
今 回 (H28)	1人	27人	1人	(※)15人	1人	45人
前期計画時(H23)	7人	0人	4人	3人	0人	14人

(※パブリックコメント実施期間中における市ホームページの該当ページ閲覧件数 364件)

●意見内容(施策分野の内訳)

年 度	大綱1 福祉・医療	大綱2 教育・文化	大綱3 産業	大綱4 都市基盤	大綱5 生活環境	大綱6 協働	その他	計
今 回 (H28)	10件	9件	21件	45件	10件	18件	2件	115件
前期計画時(H23)	24件	14件	18件	13件	11件	16件	3件	99件

4 目標指標一覧表

大綱	施策	目標指標	現状値 (H28)	目標値 (H33)	現状値の出典等
大綱1 福祉・医療	1 こども福祉	合計特殊出生率	1.46	1.50	総合戦略で設定したKPI（重要業績評価指標）（※「1.46」は、厚生労働省統計調査「平成20年～24年人口動態保健所・市町村別統計」により平成26年2月に公表された数値）
		保育園等の待機児童数（4月1日現在）	0人	0人	保育所等関連状況取りまとめ（平成28年4月1日現在）（厚生労働省）
	2 高齢者福祉	特別養護老人ホームの待機者数	304人	200人	特別養護老人ホーム入所申込者数調査（平成28年）
		ふれあいサロン参加者数	3,603人	3,750人	（福）日立市社会福祉協議会集計値（平成27年度）及び日立市基礎調査報告書（平成28年3月）
	3 障害者福祉	共同生活援助利用者数（月利用者数）	186人	246人	障害福祉課集計値（平成27年度）
		就労支援施設からの就職者数（年間就職者数）	19人	34人	障害福祉課集計値（平成27年度）
	4 地域福祉	あんしん・安全ネットワーク（見守りチーム）数	2,573チーム	2,700チーム	（福）日立市社会福祉協議会集計値（平成27年度）
		地域子ども食堂実施箇所数	（未実施）	4か所	社会福祉課集計値
	5 地域医療体制など	市民の市内医療機関における出産割合	32.7%	57.3%	こんにちは赤ちゃん訪問事業による市民出産病院調査（平成27年度）
		人口10万人当たりの医師数	168.5人	173.3人	茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査（平成26年）
	6 健康づくり	急性心筋梗塞の標準化死亡比（全国を1.00とした場合）	男性1.75 女性1.82	男性1.47 女性1.45	茨城県市町村別健康指標（茨城県健康プラザ）（平成27年）
		特定健康診査受診率	29.4%	50.0%	厚生労働省（保険者による健診・保健指導等に関する検討会）第3期特定健診等実施計画期間における目標について（第24回資料）（平成27年度）

大綱	施策	目標指標	現状値 (H28)	目標値 (H33)	現状値の出典等
大綱2 教育・文化	1 学校教育	授業の内容がよく分かる児童・生徒の割合	(小6) 国語85.4% 算数82.9% (中3) 国語80.1% 数学75.2%	(小6) 国語90.0% 算数87.0% (中3) 国語82.0% 数学80.0%	全国学力・学習状況調査(平成28年度)
		小・中学校におけるICT機器の整備率	29.5%	50.0%	学校施設課集計値(平成28年度)
	2 高等教育等	市内の高等学校卒業者の大学等進学率	54.4%	63.1%	学校基本調査(平成27年)
	3 生涯学習	生涯学習に取り組んでいる人の割合	38.2%	41.2%	市民ニーズ調査(平成28年)
		図書館の利用登録者数	79,090人	119,660人	各図書館集計値(平成27年度)
	4 文化・芸術	文化施設の利用人数	574千人	674千人	市民活動課集計値(平成27年度) (文化施設:シビックセンター、市民会館(日立・多賀)、吉田正音楽記念館、ゆうゆう十王Jホール、角記念市民ギャラリー)
	5 青少年育成	女性青少年課が補助及び所管する団体が主催する事業への青少年の参加者数	1,397人	1,655人	女性青少年課集計値(平成27年度) (対象事業:地域わんぱく隊事業、YLC高校生派遣、街頭キャンペーン、ひたち郷土かるた大会、青少年イベント企画部事業)
6 生涯スポーツ	市営体育施設利用者数	781千人	1,120千人	関係課集計値(平成27年)	
7 国際化・平和	交流事業等への外国人参加者数	100人	150人	市民活動課集計値(平成28年度) (生活相談会、防災訓練、スポーツのつどい、訪問団受入等)	
大綱3 産業	1 工業	製造品出荷額(4人以上事業所)	9,938億円	13,416億円	工業統計調査(平成26年)
		日立地区産業支援センター利用件数	952件	1,142件	(公財)日立地区産業支援センター事業報告書(平成27年)
	2 商業	小売業の年間商品販売額	1,479億円	1,479億円	商業統計調査(平成26年)
		商店街で行うイベント件数	10件	14件	商工振興課集計値(平成27年度)
	3 農・林業	経営耕地面積	440ha	242ha	農林業センサス(平成27年)
	4 水産業	水揚高	568百万円	510百万円	茨城県海面漁業水揚高集計表(平成27年)
5 物流	取扱貨物量(LNG・LPG)	26万トン	300万トン	産業立地推進課集計値(平成28年度)	
6 観光	観光入込客数(市独自集計)	2,730千人	3,280千人	茨城県観光客動態調査及び関係課集計値(平成27年度)	
	日立駅情報交流プラザ物産販売額	38,815千円	46,600千円	日立駅情報交流プラザ物産販売額(平成27年度)	

大綱	施策	目標指標	現状値 (H28)	目標値 (H33)	現状値の出典等	
大綱4 都市基盤	1 市街地整備	駅勢圏内の人口比率	26.7%	28.1%	茨城県常住人口調査(平成27年)	
		ひたちBRT沿線の人口増加率	△ 4.1%	△ 2.0%	茨城県常住人口調査(平成27年)	
	2 道路交通体系	都市計画道路整備率	65.1%	66.2%	都市計画現況調査(平成27年3月)	
		バリアフリー道路特定事業整備率	66.7%	88.9%	日立市交通バリアフリー特定事業計画(平成18年策定)、日立市バリアフリー特定事業計画(その2)(平成21年策定)(現状値は平成28年度)	
	3 公共交通体系	バス利用者数	3,498千人	3,854千人	交通事業者調べによる年度間利用者数(平成27年度)	
		パートナーシップ事業の実施団体数	7団体	12団体	日立市公共交通会議集計値(平成27年度)	
	4 公園・緑地	1人当たりの都市公園等面積	8.1㎡	8.4㎡	都市公園現況調査(平成28年)(1人当たりの都市公園等面積=都市公園等面積/都市計画区域内人口)	
	5 河川・水路	津波防護施設の整備河川数	2河川	9河川	都市整備課集計値(整備予定河川:反田川、折笠川、北川、田尻川、舟入川、梶沢川、落見川)	
	6 住宅	空き家率	4.5%	4.5%	住宅・土地統計調査(平成25年)(空き家率=その他の住宅数/住宅総数)	
	7 上下水道	水道事業 有収率	水道事業 有収率	89.8%	91.0%	平成27年度決算値(有収率=有収水量/給水量×100)
			下水道事業 有収率	76.7%	78.2%	平成27年度決算値(有収率=有収水量/汚水量(処理水量)×100)
		主要な水道管路施設の耐震化率	27.2%	45.1%	日立市水道施設更新計画に基づく主要な水道管路施設の耐震化率(平成27年度現在)(主要な水道管路の耐震化率=主要な管路(導水管、送水管、φ250mm以上の配水管)の耐震化延長/主要な管路総延長)	
		主要な下水道管路施設の耐震化率	7.8%	37.8%	日立市公共下水道事業総合基本計画に基づく主要な下水道管路施設の耐震化率(平成27年度現在)(主要な下水道管路施設の耐震化率=主要な下水道管路施設の耐震化延長/全体計画の延長)	

大綱	施策	目標指標	現状値 (H28)	目標値 (H33)	現状値の出典等
大綱5 生活環境	1 自然環境の保全と創造	新エネルギー導入補助(エネファーム)件数	(平成28年度から実施)	110台	環境政策課集計値 [参考] (一社)燃料電池普及促進協会集計値:市内における設置台数110台(平成27年度)
	2 ごみ・資源	人口1人当たりのごみ年間総量	362k g	344k g	一般廃棄物処理実態調査(平成26年度)
		ごみのリサイクル率	20.2%	21.0%	一般廃棄物処理実態調査(平成26年度)
	3 消防・救急	人口1万人当たりの火災発生件数	3.25件/万人	2.83件/万人	消防本部集計値(平成27年)
		病院収容所要時間(119番通報から病院に収容するまでに要した時間)	36.7分	36.0分	茨城県消防防災年報(平成27年版)
	4 防災・減災	特定建築物の耐震化率	64.3%	95.0%	日立市耐震改修促進計画(平成27年度)
		自主防災訓練参加者数	15,251人	18,000人	生活安全課集計値(平成26年度)
5 防犯・交通安全	人口千人当たりの犯罪認知件数	7.005件	5.981件	市町村別犯罪認知件数(平成27年)	
	人口千人当たりの交通事故発生件数	3.96件	3.48件	市町村別交通事故発生件数(平成27年)	
6 墓地・葬祭場	市営霊園使用率	95.4%	98.3%	市営霊園需要予測(市独自集計)	
大綱6 協働	1 コミュニティ活動	地域活動(行事)に参加している人の割合	23.0%	23.0%	市民ニーズ調査(平成28年)
	2 市民の多様な活動	ボランティアなどの活動(NPO活動を含む)への参加率	9.0%	11.0%	市民ニーズ調査(平成28年)
	3 産学官連携	行政と大学の連携事業数	34件	43件	各課所における大学との連携事業の実施状況調査(企画調整課)(平成27年度) (連携協定:茨城大学、茨城キリスト教大学、常磐大学)
	4 男女共同参画	審議会等における女性委員の比率	28.8%	30.0%	女性委員の登用状況調査(平成27年度)
	5 広聴広報・相談	フェイスブック閲覧件数	1,151千件	2,000千件	日立市公式フェイスブック閲覧件数(平成27年度)
	6 財政運営	財源等確保額	301億円	292億円	自主財源のうちの市税、使用料及び手数料、財産収入の合計額(平成27年度)
		経常収支比率	88.0%	88.0%	経常収支比率=経常経費充当一般財源(人件費などの毎年経常的に支出される経費)÷経常一般財源(市税などの毎年経常的に収入され、自由に使うことができる財源)×100(平成27年度)
7 行政経営	行財政改革の取組についての評価(5段階評価の平均)	3.44点	3.50点	市民ニーズ調査(平成28年)	

日立市総合計画

後期基本計画

平成29年度～平成33年度
(2017～2021)

発行／日立市

編集／日立市 市長公室 企画調整課

茨城県日立市助川町1-1-1

TEL:0294-22-3111 050-5528-5032

<http://www.city.hitachi.lg.jp/>



日立市

